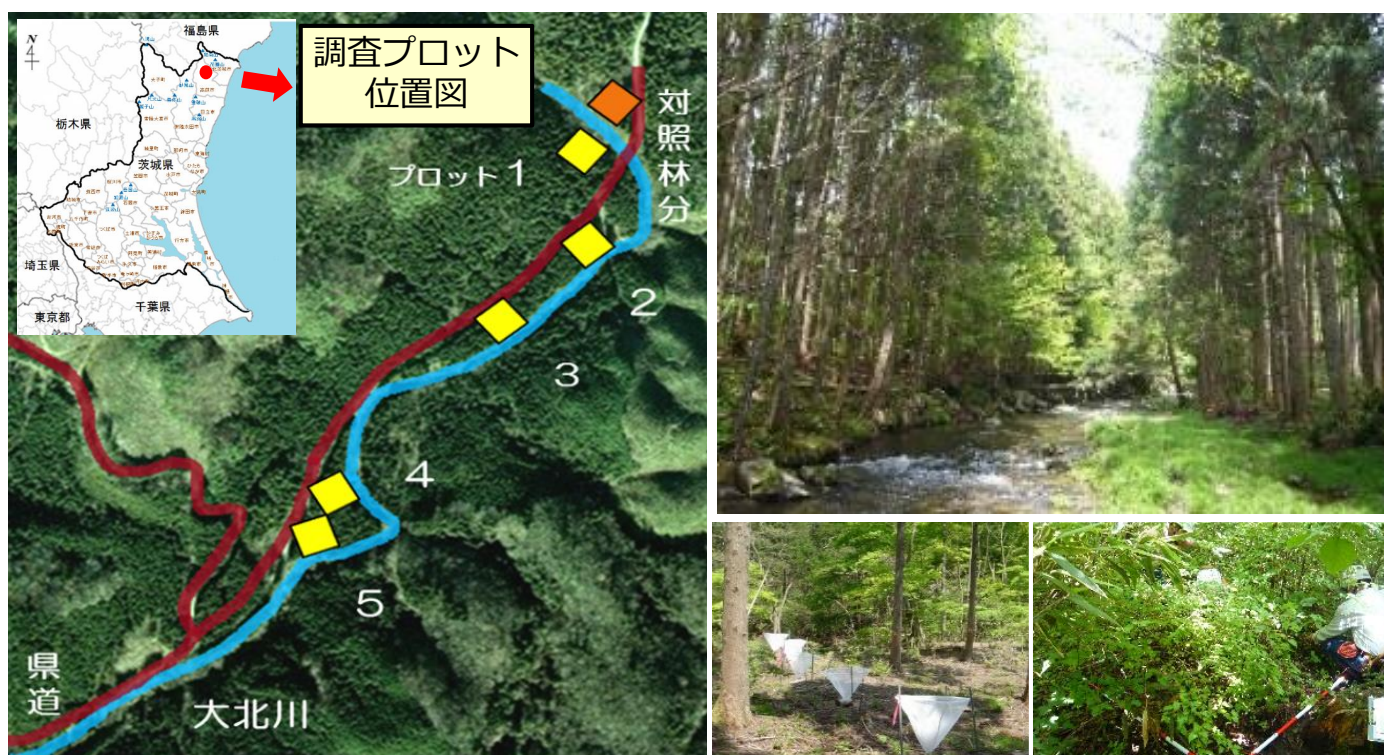




- 場所：茨城森林管理署管内 【大北川溪畔林試験地：約4ha】
高萩市大字下君田 横山国有林1078り林小班（一部）外
- 期間：平成27年度～
- 共同開発機関：森林総合研究所
- 概要：溪畔には、一般に土石流に伴う攪乱によって形成される変化に富んだ環境に適合した森林が成立するが、現状が人工林になっている箇所も多い。生物多様性の保全の観点から、人工林を自然林に誘導していくことが望まれる場合もあるが、そのための技術は確立されていない。このため、大北川流域の溪畔に存する人工林について、立地条件に応じた自然林に効果的かつ着実に誘導していくための天然更新補助作業の具体的な指針を作成する。
試験地設定年度：2004(H16)年度



茨城県北部の大北川流域の水際まで植えられたスギ人工林の試験地
(1971(S46)年植栽)

開発方法

1 調査プロット

- ① 各20m×14～18m
- ② コドラート2m×2m：7～9設置
- ③ コドラート横にシードトラップ設置

2 調査方法

- ① 胸高直径5cm未満（稚樹）
 - ① 高木性木本の本数と樹高
 - ② コドラート横にシードトラップ
 - ③ シードトラップ周辺の種子源調査
- ② 胸高直径5cm以上（上木）

スギ植栽木と高木性木本の胸高直径と樹高

